

● 地域スポーツの担い手である体育協会の充実支援を図るとともに各種目団体等の連盟化を促進し、各種スポーツ大会を全域大会に発展させ、第1回「朝来市オリンピック（仮称）」を開催して地域住民の一体感の醸成に努めます。

● 青少年（ジュニア）スポーツ団体等の自主活動を支援するとともに、団体間の交流や指導者のネットワーク化を図るため、代表者連絡会等の組織化を進め、青少年の健全育成と活動支援体制の充実を図ります。

③ 芸術文化活動を促進する

● 朝来市文化会館活性化計画や美術館活性化計画に基づいた事業を推進するとともに、芸術文化団体との連携を強化し、朝展・あさご芸術の森大賞展などの公募展の充実と演劇セミナーなど、市民参加型文化事業を推進します。

● 音楽や美術など芸術文化をテーマと国内外との交流事業を推進するとともに、市内の美術品等を調査・把握し、それらの作品の保存・活用に努めます。

● 平成20年に開館10周年を迎えるあさご芸術の森美術館の施設改修を関西電力株式会社との支援を得て進めます。また、和田山文化会館を市の芸術文化の拠点施設として位置付け、関連文化施設との連携強化を図るとともに、芸術文化の一層の充実にも努めます。

④ 地域の歴史文化遺産を保存・活用し、継承する

● 地域の歴史文化遺産の保存、活用、継承に努めるとともに、それらを生かしたまちづくりを推進するため、近代化産業遺産保存活用基本方針を策定します。

● 南但馬歴史・文化ミュージアム構想の推進に向けて、埋蔵文化財センター「古代あさご館」の活動充実を図るとともに、近接の茶すり山古墳保存整備事業を行います。また、池田古墳の調査事業に取り組みとともに市内の歴史・文化資源の活用ネットワーク化により、地域の活性化を図ります。

● 生野銀山開坑1200年を記念とし、地域住民が主体となつて取り組む「生野銀山開坑1200年事業」を支援するとともに、地域の活性化を積極的に図ります。

さらに、この事業を契機として、全国の鉱山所在地との連携を図りながら、日本の近代化を支えた鉱山関連遺産に対する国内外の評価を高めるための活動に積極的に取り組まします。

(3) 共に学び、ふれあい、高め合うまちをつくる

① 生涯学習の基盤をつくる

● 生涯学習にかかる講座、研修会やシンポジウムの開催などを通じて、市民の自発的な生涯学習活動を促進します。

● 生涯学習活動がまちづくり活動に活かせる社会づくりに向けて生涯学習活動の推進体制の構築を図ります。

② 心豊かで地域に貢献する青少年を育てる

● 地域行事や環境美化活動などへの参加を通して心豊かに地域で生きる青少年を育てられる社会づくりに努めます。

③ 多様な交流活動を進める

● 市民号や朝来市再発見ツアーをはじめ、各種のイベントを通じて市民相互はもとより地域活動団体相互の交流を促進

し、市民の融和と一体感の醸成に努めます。

● 国内交流は、市町間及び地域間など色々な主体が取り組む交流を促進し、地域の活性化を図ります。

● 地域の活性化や若者の交流促進を目的に受け入れ地区と協働して、ふるさと青年協力隊事業を積極的に取り組みます。

● 学校での国際理解教育の取り組みをはじめ、行政、市民レベルにおいても教育、音楽や芸術などをテーマとする旧町毎の交流事業やあさご国際音楽祭等、多様な機会を通じての国際交流を促進し、国際性豊かな市民の育成に努めます。さらに、本年から兵庫県熱心な勧めによりフランス・バルビゾン村との交流を開始したいと考えています。

● 全市的な国際文化交流推進体制を整えるため、市内4国際文化交流協会の一本化に向けた協議を引き続き進めます。



5 みんなが主役 住み続けたいまちづくり

(1) 市民意識を高め、地域活動の輪を広める

① 朝来市のイメージをつくり、高める

● 市の一体感を醸成するため、昨年度から引き続き4つの市民一体化事業（①市民活動支援事業、②環境対策事業、③市民体操制定事業、④朝来市再発見事業）を実施し、一体的まちづくりへの意欲を喚起し、旧町の枠にとらわれない市の均衡ある発展に努めます。

② 人権意識の高揚を図る

● 同和問題をはじめとするさまざまな人権問題について、市民一人ひとりが自らの課題として受け止め、その課題解消のために各種啓発や教育に努めます。

③ 男女共同参画を積極的に推進する

● 男女が互いを尊重しながらそれぞれの個性、能力を発揮することができる地域社会づくりを推進するため、男女共同参画プランを策定し、市民と行政が一体となった推進体制の整備を進め、市民の意識改革に努めます。

● 女性の起業や再就職、地域活動へのチャレンジを支援するため、関係機関との連携を密にし、あさご女性チャレンジひろばコーナーの機能の充実を図り、女性の地域社会への参加・参画を一層促します。

④ 地域コミュニティを活性化

● 地域共同体の基盤である自治会などのコミュニティ活動を活性化し、市民の地域連帯意識や自治意識を高めていくことが求められています。県の施策である県民交流広場事業を活用しながら、「地域のことは地域で」を基本とした地域自治協議会の設置を促進します。

● 住民自治活動への支援として、「地域づくり支援事業補助金」を柱として、地域の創意工夫による地域活動が活発に